

5 報告事項

(2) まるまるひがしにほんの利用 状況について（さいたま市）

まるまるひがしにほんの利用実績

①まるまるひがしにほんの利用実績

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年間来館者数	700,294人	913,774人	916,687人	1,060,408人	1,037,730人
1日平均	2,390人	2,829人	3,035人	3,476人	3,402人
稼働日数	293日	323日	302日	305日	305日
シティプロモーション 開催件数	19件	38件	45件	43件	43件

⇒徐々に認知度は向上し、2年連続で来館者は**100万人を突破**！
平日で約2,000人、休日は多い時で**10,000人以上**の来館者がいます！



福島市のフルーツ&グルメフェア
(8/5・6)



福いいネ！
～福井のいいもの大集合～
(11/23～26)



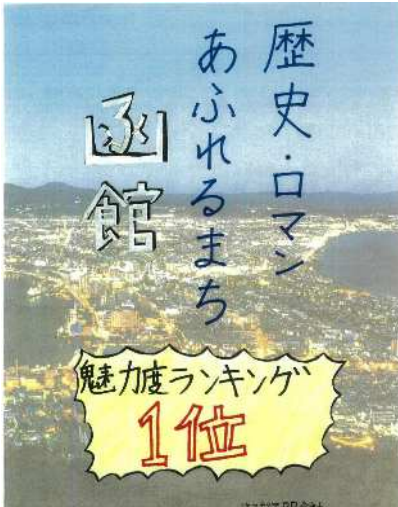
北海道・函館物産展Vol.5
(12/21～24)



いちごいっぱい！
さいたまスイーツまつり
(3/1・2)

“さいたま”あんとれすくーる

「第22期”さいたま”あんとれすくーる販売会」 (令和7年8月23日(土))



オンライン
会議の様子



販売会
の様子



さいたま市内の小・中学生を対象に、会社設立から、商品の仕入れ・販売・決算まで行う、実践的なビジネス体験プログラム。函館市、三条市、高岡市、金沢市に協力いただき、商品の販売会を実施しました。

災害復興支援の事例

北茨城市「北茨城市の”いいところ”フェア」 (令和6年6月8日(土)・9日(日))



令和5年9月の台風13号で甚大な被害を受けた北茨城市の復興支援イベント。名物の「しらす」や「ジャンボシイタケ」が大変人気で、来館者からは、冬の名物のあんこうが旬となる時期の出展を望む声が寄せられた。

「輪島朝市 in まるまるひがしにほん」 (令和7年6月21日(土)・22日(日))



能登半島地震で、甚大な被害にあった「輪島朝市」の復興支援イベント、特産の海産加工品や漆器等を販売。21日の営業後には「輪島・さいたま交流会」を実施し、輪島朝市とさいたま市民が交流を深めた。

東日本の商材販路拡大

●東日本の食材商談会

東日本連携センターを核として、市内の飲食、食品加工、卸売の事業者を対象に、東日本各都市の逸品が一堂に会する食材商談会を開催！（令和4年度：7回開催、令和5・6年度：6回開催）

令和7年度の日程及びテーマ

日程	テーマ	
R7.9.17(水)	日本酒の商談会&試飲販売会	
R7.10.14(火)	北海道	さいたま市産 + 東日本連携 各都市の イチオシ食材
R7.11.18(火)	東北	
R8.1.20(火)	北陸・上越	
R8.2.17(火)	北関東・長野	
R8.3.4(水)	日本酒の商談会&試飲販売会	

過去の食材商談会の様子



過去の日本酒商談会の様子



市内飲食事業者や卸売事業者等とのマッチング、販路拡大の機会となりますので、各都市内の農産物や海産物、お酒の振興担当課、ブランド認定担当課等にも共有の上、是非出展をご検討ください。